

人道吊橋のメンテナンス技術相互協力協定調印式

◆ 日 時 令和2年3月26日(木) 13:30~14:00

◆ 場 所 近畿地方整備局 第1別館302共用会議室
(大阪府中央区大手前1-5-44)

次 第

1.開式

2.開式挨拶

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 情報ワーキング長
(関西大学 環境都市工学部 教授) 坂野 昌弘 氏

3.経緯報告

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム フォーラムリーダー
一般社団法人国土政策研究会 理事兼関西支部事務局長 片岡 信之 氏

4.協定調印・記念撮影

5.挨拶

- インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 事務局代表
一般社団法人国土政策研究会 理事兼関西支部長 霜上 民生 氏
- 本州四国連絡高速道路株式会社 代表取締役社長(代理出席) 酒井 孝志 氏
- 十津川村 村長 更谷 慈禧 氏

6.閉式

7.報道インタビュー

協定概要 ■ インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム

(一般社団法人国土政策研究会 関西支部)

- 総合的な技術指導
(本協定のエグゼクティブ・アドバイザー:関西大学 環境都市工学部 教授 坂野 昌弘 氏)
- 本州四国連絡高速道路株式会社及び十津川村の技術交流の仲介
- 本州四国連絡高速道路株式会社・十津川村との協議の上、
技術協力で得られた人道吊橋についての必要なメンテナンス技術等の公表

■ 本州四国連絡高速道路株式会社

- 十津川村が実施する点検の結果や現地調査に基づく技術協力(助言・提案)
- 自主的な判断に基づく、技術情報の提供
- 十津川村の要請に基づく現地調査(年1・2回程度)

■ 十津川村

- 本技術協力に関係する点検等の年間計画の提示
- 現地調査を伴う場合の実費負担(国交省基準に基づく交通費・人件費・経費等の一部)
- 定期的な現地の状況等の報告など積極的な技術交流の実施

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 実証実験のお知らせ

【概要】

■ 実験日時：令和2年4月23日(木)13:00～15:30(予定)【12:30受付開始】

■ 集合場所：一般社団法人奈良県十津川建設業協会 会議室
吉野郡十津川村高津597-1

■ 実験場所：奈良県吉野郡十津川村大字林172番地先
林橋右岸ケーブルアンカー付近(左右ケーブル50cm程度1本計2本)

■ 施設管理者の課題(ニーズ概要)【施設管理者:十津川村】
人道吊橋の維持管理を行うため、メインケーブルを利用した軽量の移動足場と、ワイヤーケーブル(撚線)の錆が残らないケレン技術等

■ 実験実施者：① 阿南電機株式会社
② フルサト工業株式会社

■ シーズ技術：① 米国 TRENTON社製 ウルトラワックステープ
② レーザーを利用した剥離工法 レーザーケレン

■ 問合せ先：インフラメンテナンス国民会議近畿本部事務局
(一般社団法人 国土政策研究会関西支部)
TEL:06-6695-7639
e-mail:kansaishibu@kokuseiken.or.jp

【注意事項・その他】

雨天時には実証実験を中止いたします。(※小雨の場合は決行)

実証実験開催の有無を確認する場合は、前日(4月22日(水))の15:00以降上記の問合せ先までご連絡下さい。
また、その他不明な点についても上記問合せ先までご連絡をお願いします。

No	橋名	村名	架設年次	経過年数	橋長	幅員	主な用途
10	林橋	林橋	1947	72	108.5	1.8	洪水時迂回路



点検実施年月日	調査区分	所見等
2015.11.09	II	主索、副風索の腐食物、主索脚部が腐食している。

